

# のりちゃんマン

信愛幼稚園園長通信 NO. 2

2022年4月20日

発行：横田 法子

進級・入園に際し、種々の準備やご協力をいただきありがとうございます。順調なスタートです。園での緊張がご家庭の様子に影響しているかもしれませんが、それは頑張りの証拠。おやっと思ふことがあれば、目をしっかり見つめて抱きしめてあげてください。足踏みしたり、一歩下がったり、失敗もしたり、なかなか思った通りにいかなかったり、それで順調です。他の子と比べる必要もありません。登園時のご家族とのお別れタイムが一番の頑張りどころのお子さんもいます。大きな声で「おはようございます」とあいさつすることは素敵です。でも、それどころではないお子さんもいます。大好きな家族とまだ一緒にいたい気持ちに踏ん切りをつけるのに精一杯なら、突然目の前に現れた人にご挨拶するのはなかなか高度です。お別れの寂しさをこらえ、視線を園舎に向けて歩き出す姿も素敵です。登園の気分が乗らない日も、他のことを考えてる時もあります。アイコンタクトであいさつを交わしているお子さんもいます。だからお願いです。のりちゃんマンとの挨拶を促す必要はありません。落ち着いたら、元気に声をかけに来てくれるお子さんもおられますよ。

## のりちゃんマンの自由研究

- 研究テーマ：クマバチとの共存
- 研究の動機と目的：園庭の藤の花に集まるクマバチの脅威から園を守る
- ゆか先生が調べたこと：藤の花が大好物。毒針があるのはメスのみ。おとなしい性格で自分からは攻撃しない（怒ると攻撃）
- 観察してわかったこと：午前中は4匹程度がそれぞれの持ち場（藤の前、つみ木の部屋の屋根のあたり、園庭中央、大型木製遊具の滑り台の上あたり）を守るようにホバリング。捕獲すると別のクマバチが持ち場に現れる。持ち場にクマバチやチョウチョが来ると追いかけてまわし体当たり。ホバリングしているクマバチに近づいてもじっとしていると離れていく。昼過ぎに藤の花に群がって蜜や花粉を集める。夕方はいない。
- 調べてわかったこと：ホバリングはオスの縄張宣言。繁殖に関する習性で他のオスを追い払うものでスズメバチのような威嚇にあらず。性格は温厚で攻撃性は他の蜂より低い。他の蜂と違って集団でなく単独で活動するので集団で刺すことはあまりない。毒針はメスのみ毒性は弱い。巣を子孫が受け継ぐ。
- 結論：ホバリングしているクマバチは刺さないよとこどもたちにお伝えし、そっとしておく。昼過ぎは、「ハチの赤ちゃんのために蜜や花粉をクマバチさんに分けようタイム」にすることをこどもたちに提案&お願い。園児が藤の花に近付かないような対策（バリケード）をして、のりちゃんマンが見守る。